

防災・危機管理 e-カレッジ運用開始とその概要

<http://www.e-college.fdma.go.jp>

総務省消防庁防災課

平成 16 年 2 月 20 日にインターネットを利用して、地震や風水害等の災害やそれらに対する対策など、防災・危機管理について学ぶことができる「防災・危機管理 e-カレッジ」（以下「e-カレッジ」という。）の運用が開始されました。

この「e-カレッジ」は、地域の住民、地方公務員、消防職員、消防団員などの方々がインターネット上で、いつでも、誰でも、無料で学習できることが可能です。本年 2 月に、運用を開始した部分は、地域住民の方を対象としたものが中心となっています(表 1 参照)。

それは、大規模な災害であればあるほど、家庭等ひとりひとりの知識や、備えが重要になるためです。行政によって行うことができることは、大災害が起こった直後は限られています。図 1 には、阪神淡路大震災において閉じこめられた人がどのように救出されたかを示したのですが、ほとんどの方が、自力での脱出、家族や隣人の助けによるものであることがわかります。

表 1 平成16年2月20日から運用を開始した内容の一覧

■学校案内 師範室	■基礎を学ぶ（住民の方向け） 1. 災害の基礎知識コース 2. 災害への備えコース 3. いざという時役立つ知識コース 4. 地域防災の実践コース 5. 災害時ボランティア実践コース	■深く学ぶ (大学の先生等から 災害について学ぶ) 1. 地震対策 2. 津波対策 3. 火山対策 4. 水害対策 5. 土砂災害対策 6. 市民防災 7. 災害情報 (一部開発中)
■大地震を3日間 生き延びる！（住 民の方向け）	■地方公務員の方へ (今年度は導入のみ)	
■大地震に備えた 責務（地方公務 員・消防職員・ 消防団員向け）	■投稿交流の場 (情報交換や質問の受け付け)	

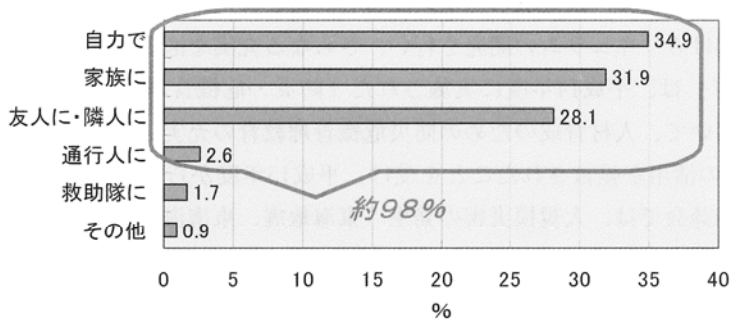


図1 阪神・淡路大震災において生き埋めや閉じこめられた際の救出

社団法人日本火災学会

『兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書』より

また、そのトップページは図2のとおりで、インターネットでアクセスした方が、自分で勉強したい部分を選択することができますようになっています。



図2

今年度は、地方公務員、消防職員、消防団員を対象としたコンテンツの充実や、幼児及び小学校低学年向けカリキュラムの開発を行い、さらなる充実を図ることになっています。

「e-カレッジ」は、平成14年度に実施された「防災・危機管理教育のあり方に関する調査懇談会」において、人材育成のための防災危機管理教育の充実・強化の一つの手法としてeラーニングの活用が提言されたことを受け、平成15年度から消防庁が取り組んでいるものです。その懇談会では、大規模災害の発生(東海地震、東南海・南海地震や南関東地域直下の地震等)が懸念されていると共に、世界各地での、テロの発生などもある今、そのような事象発生時の被害軽減を目指すため、国全体として「人材」の育成による防災・危機管理能力の向上に取り組むことが必要と提言されました。

現在インターネットで見ることのできる内容を以下に示します。

■師範室

「災害は忘れた頃にやってくる」という印象的な言葉を残された、寺田寅彦氏の著書からの抜粋や、いのちの大切さについて数多くのメッセージを世に送り出しておられる日野原重明氏によるインタビューにより構成されています。



日野原重明
師範



寺田寅彦
師範

(1978~1935)
写真提供 高知県立文学館

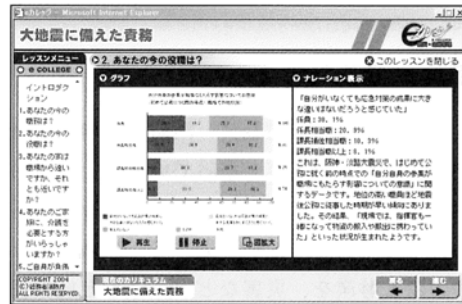
■大地震を3日間生き延びる

大地震が発生したとき、起こりうる具体的な状況を「地震発生時」「6時間後」「1~3日後」時間経過時に想定される状況における行動や準備に関する質問を、選択肢を選ぶことによって答えるものです。それぞれの状況について3問の合計9問について、「あなたならどうする?」という質問に答えながら、災害イメージを具体化し、大地震に見舞われたとき、いかに身を守るか、3日間生き延びるためにどのような準備が必要かを考えることができます。



■大地震に備えた責務

地方公務員、消防職員、消防団員の方々を主な対象とした内容です。災害に見舞われたとき、実際の災害での体験談を紹介しながら、地域を守るためにいち早く職務に就き、任務を果たすために、どのようなことを考え、準備しておくことが必要かについて考えます。



■基礎を学ぶ

この中にあるコースには、災害から命や暮らしを守るために、是非知っておきたいことが盛り込まれています。それぞれのコースについてテストを受け一定レベルに達した方には修了証を発行します。

1 災害の基礎知識コース

地震・津波災害、風水害、火山災害、火災について、災害発生のメカニズムや、災害が暮らしにどのような影響を及ぼすのか、また、どのような対応をとることが必要かといった基本的な事項について学ぶことができます。

2 災害への備えコース

防災事に身を守り、被害をできるだけ小さくし、災害後の暮らしをできるだけ早く立て直すために、備えておきたい内容をまとめたものです。事前の備えチェック、家庭内の安全性チェック、わが家の耐震性チェック、損害保険の基礎知識について目を通し、備えについて、何が足りないのかを考えることができます。

3 いざという時役立つ知識コース

災害が起こったそのときに知っておくべきサバイバル技術集です。初期消火、救命手当、救助、119番通報、電気安全、ガス安全、避難、安否の確認、災害時の電話の使用、気象庁から発表される情報、災害時のインターネットを通じた各種情報の入手など、いざというときに役立つ知識や技術について知ることができます。

4 地域防災の実践コース

地域を守るために地域防災の必要性、地域の防災リーダーの役割、地域防災の実践について学び、自分たちの住む町の防災力を高めることにつなげることができます。

5 災害時のボランティア活動の実践コース

災害時のボランティア活動の意義と役割、災害時にボランティア活動を行う際の心構えについて確認し、自身も相手も満足いくボランティア活動を実践について考えることができます。

■地方公務員の方へ

地方公務員、消防職員、消防団員の方々を主な対象とした内容となっています。実際の災害において、指揮を執られた経験をお持ちの方へのインタビューを通じて、地域の人々の生命と財産を、災害などから守るという任務について学びます。



高田 勇 前長崎県知事

■深く学ぶ

防災・危機管理に関する専門的な内容についてより深く学ぶための講座が用意されています。最先端の研究や、地域に密接した内容などそれぞれ充実した内容になっています。

- ア 地震対策 (監修)東京大学生産技術研究所助教授 目黒公郎氏(制作中)
- イ 津波対策 (監修)東北大学大学院工学研究科教授 今村文彦氏
- ウ 火山対策 (監修)静岡大学教育学部教授 小山真人氏
- エ 水害対策 (監修)群馬大学工学部助教授 片田敏孝氏
- オ 土砂災害対策 (監修)鹿児島大学理学部教授 岩松暉氏
- カ 市民防災 (監修)京都大学防災研究所教授 林春男氏(制作中)
- キ 災害情報 (監修)東京大学社会情報研究所教授 廣井脩氏(制作中)

災害史から学ぶリンク集

災害史に関する資料等を紹介しているサイトを集めたリンク集です。

- ケ 地震調査委員会による長期評価

■投稿・交流の場

防災に関する情報の交流の場です。身近な情報や「防災・危機管理 e-カレッジ」に関する質問を受け付ける場所です。

□教材・防災テクニック紹介等

防災に関する教材の情報や、私、わが社、わが町が取り組んでいる防災対策等についての投稿スペースです。防災に関する主張や話題等受け付けています。

□防災・危機管理 e-カレッジに関する質問

「防災・危機管理 e-カレッジ」に関する質問を受け付けています。また、質問に対する意見等も受け付けています。

□防災関係新着図書紹介

防災関係の新着図書情報を紹介します。

□消防防災イベント情報

(財)消防科学総合センターが運営するホームページ「消防防災博物館」の「消防防災イベント情報」コーナーにリンクしています。消防防災関連のイベント情報の投稿や閲覧を行うことができます。

おわりに

消防庁では、「e-カレッジ」が、多くの方々にとって災害時に何を行うべきか、災害にどのように備える必要があるかを身につける一助となるよう、引き続きさらなる内容の充実を図ります。